

街並みを眺めながら、力強くペダルをこぐ出場者
＝輪島市門前町走出



銀輪連ね

ツール・ド・のと開幕

半島ゆく

第22回「ツール・ド・のと400」能登半島一周サイバル・サイクル2010（同

実行委、石川県体協、県自転車競技連盟、北國新聞社主催）は18日、内灘町の県立自転車競技場を発着点に、3日間の日程で開幕した。全国からエントリーした出場者1412人のうち、初日は1106人が輪島市マリンタウンを目指し、力強くペダルをこいだ。

【20、21面に関連記事】
午前8時半、3日間で全行程409・3kmを走破するチャンピオンコースの654人と、内灘―輪島を走る一日コースの452人が一斉にスタートした。出場者は能登の自然を満喫しながら海岸沿いに銀輪を連ねた。

開会式では、山本正

美北國新聞社事業局長と来賓の八十出泰成内灘町長がいさづ、緩詰潔真自転車競技連盟会長が激励した。大会は財団法人JKAが特

別協力する。
19日は輪島市マリンタウンから七尾市の能登島マリンパーク海族公園を目指す。